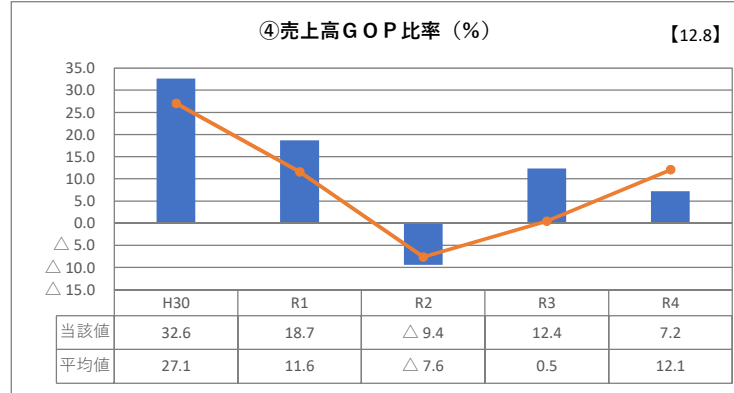
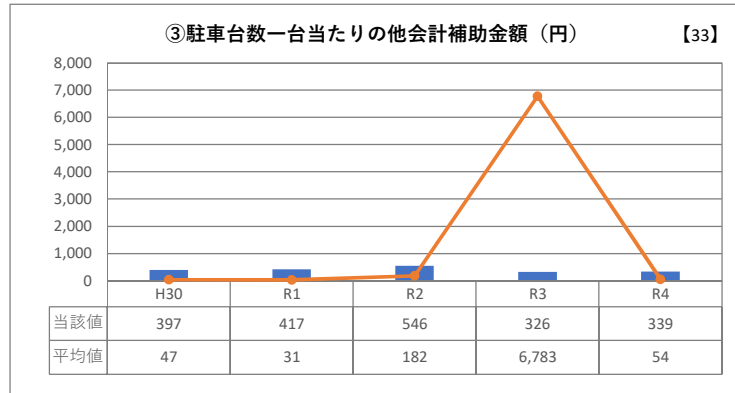
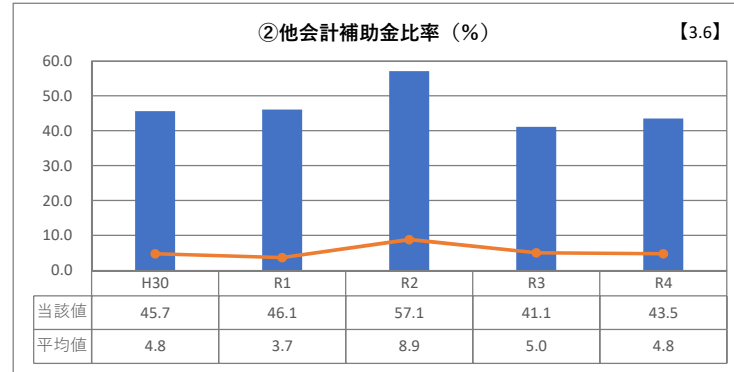
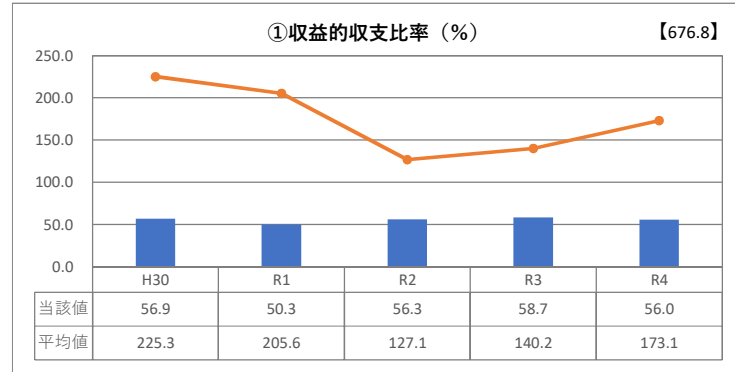
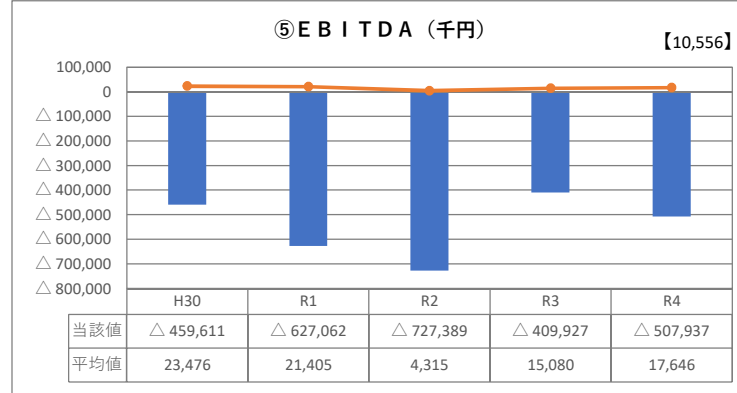
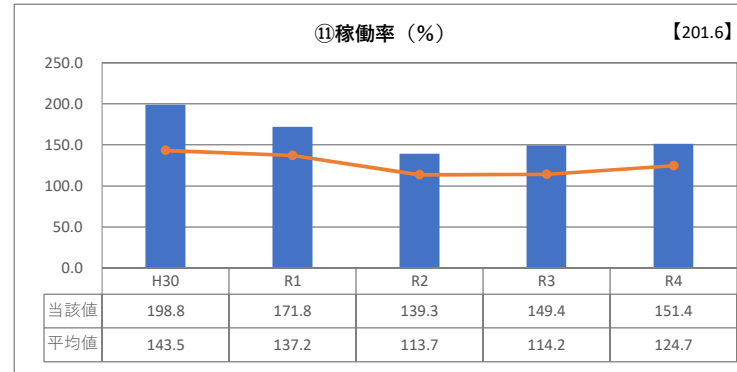


経営比較分析表（令和4年度決算）

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

⑥ 有形固定資産減価償却率 (%)

該当数値なし

⑦ 敷地の地価(千円)

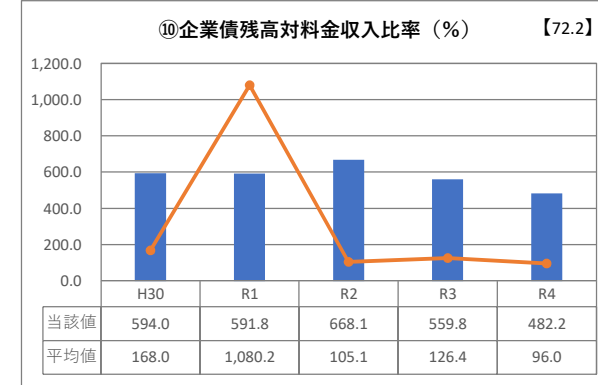
0

⑧ 設備投資見込額(千円)

0

⑨ 累積欠損金比率 (%)

該当数値なし



グラフ凡例
■ 当該施設値 (当該値)
— 類似施設平均値 (平均値) ※
【】 令和4年度全国平均

※立体式5施設、地下式1施設で平均値算出
分析欄

1. 収益等の状況について
駐車場の料金収入等で支出をどの程度賄えているかを示す収益的収支比率(%)は100%未満で赤字となっています。
他会計補助金比率及び駐車台数一台当たりの他会計補助金額は平均よりも高いですが、建設当時の償還が完了する令和15年度以降はゼロとなる見込みです。
売上高GOP比率やキャッシュの利益を示すEBITDAは平均よりも低く、昨年と比べても下がりましたが、これは管理組合による大規模修繕を負担するため、営業費用が上がったことが原因です。

2. 資産等の状況について
建設費の償還は令和14年度に完了しますが、今後は令和5年11月に策定した駐車場ビジョンに基づきエレベーターの改修や防水工事等の設備投資を見込む予定です。

3. 利用の状況について
稼働率は平均よりも高く、新型コロナウイルス感染症の影響が強かった令和2年度以降は回復傾向にあるものの、全体に下降しており、需要が減少していることが分かります。

全体統括
6施設全体で見ると、他会計補助率が平均よりもかなり高いですが、これは償還に一般会計からの繰入金を充当していることによるものです。周辺環境の変化に伴い稼働率も大きく変化してくるため、駐車場ごとに分析し、令和5年11月に策定した駐車場ビジョンに基づき今後の対応を考えていく必要があります。

経営比較分析表（令和4年度決算）

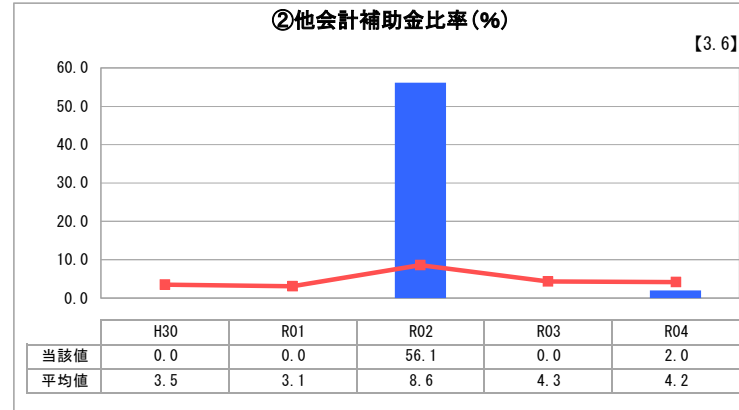
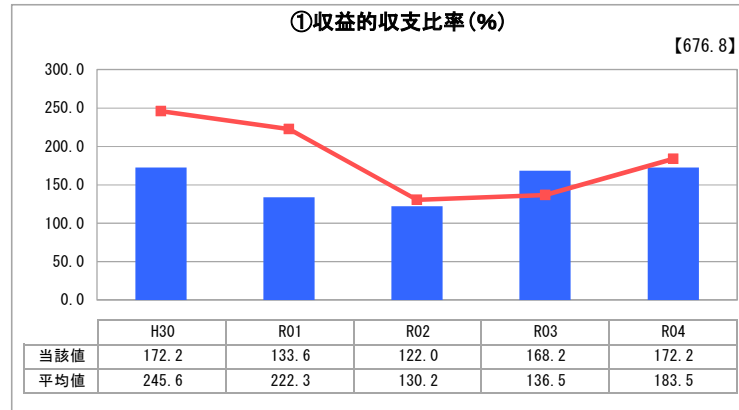
神奈川県相模原市 相模大野立体駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	35	

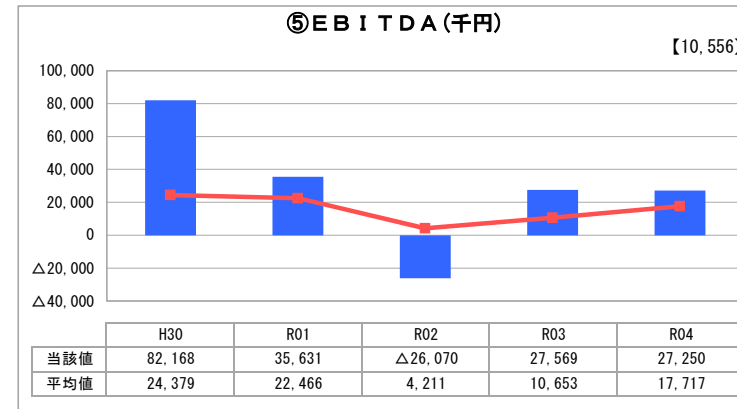
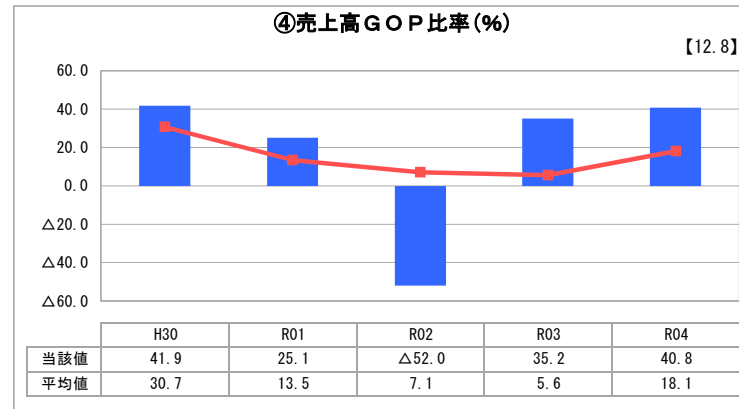
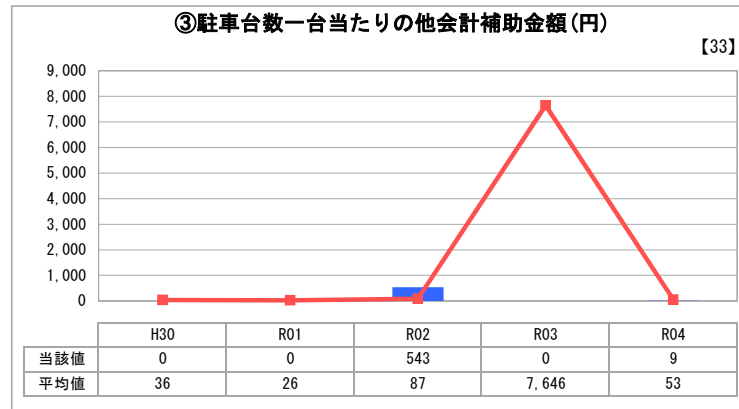
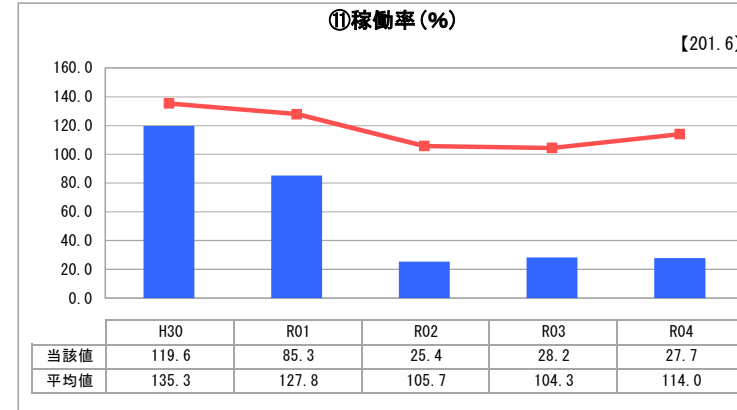
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	26,488
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
856	300	代行制

グラフ凡例	
■	当該施設値（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

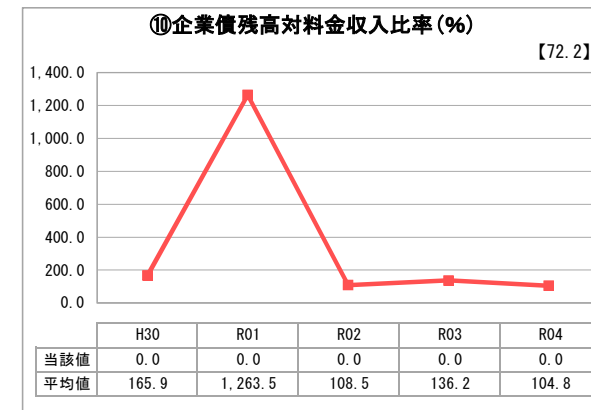


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
 駐車場の料金収入等で支出をどの程度賄えているかを示す収益的収支比率(%)は100%を超えており、黒字の状態となっています。
 本駐車場の建設費償還は完了しており、他会計補助金比率や駐車台数一台当たりの他会計補助金額はゼロでしたが、令和2年度は自動火災報知設備の更新、令和4年度はトイレの自動水洗化にかかる修繕に一般会計から繰り入れを行っています。
 売上高GOP比率及びEBITDAは平均よりも高い数値を示しており、利用者減少後も、収益性は高い状態にあることを示しています。

2. 資産等の状況について
 駐車場建設費の償還は完了していますが、老朽化が進んでおり、防火設備の更新等を行っています。
 今後は令和5年11月に策定した駐車場ビジョンに基づきエレベーターの改修や防水工事等の設備投資を見込む予定です。

3. 利用の状況について
 令和元年9月末に隣接する大型商業施設の閉店後は低い数値で推移しています。
 今後、大型商業施設の跡地開発により、ある程度の回復を見込んでいますが、需要が減少していることから、令和5年11月に策定した駐車場ビジョンに基づき、都市計画駐車場としての位置付けの見直しをします。

全体総括
 本駐車場は、昭和63年11月から供用を開始した、相模大野駐車場整備地区内に3つある都市計画駐車場のうちの1つです。しかし、隣接した商業施設が閉鎖して需要が減少したことや、近隣にも都市計画駐車場や民間駐車場があることを踏まえ、令和5年11月に策定した駐車場ビジョンに基づき、都市計画駐車場としての位置付けの見直しをします。

経営比較分析表（令和4年度決算）

神奈川県相模原市 相模原駅自動車駐車場

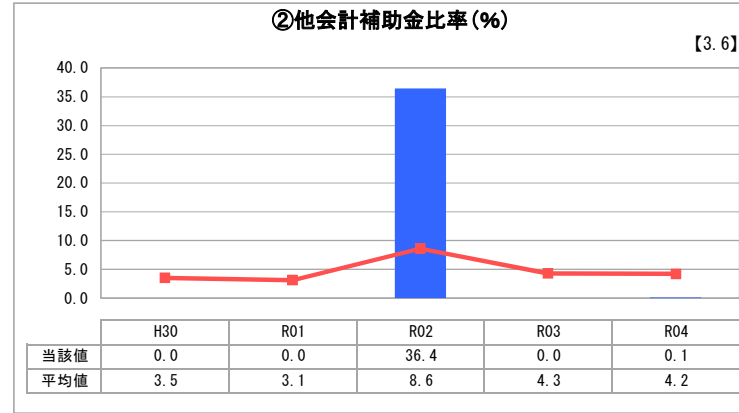
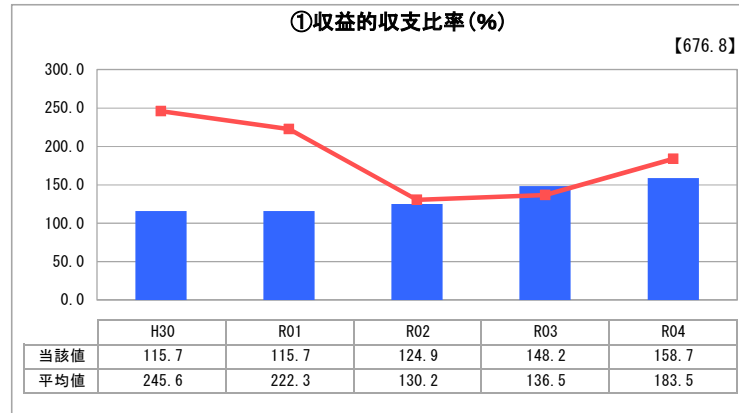
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	26	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	10,027
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
283	300	代行制

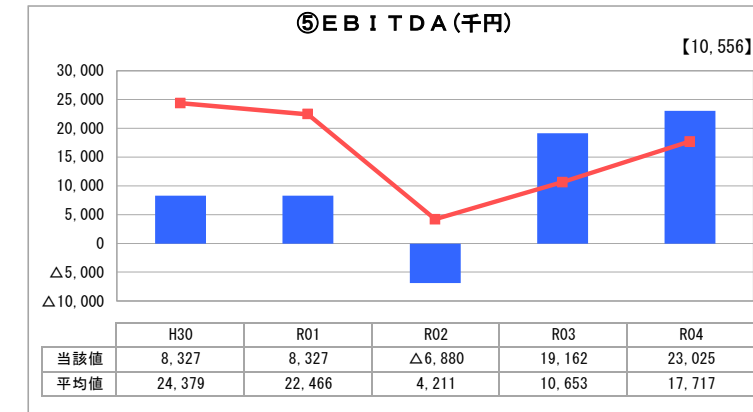
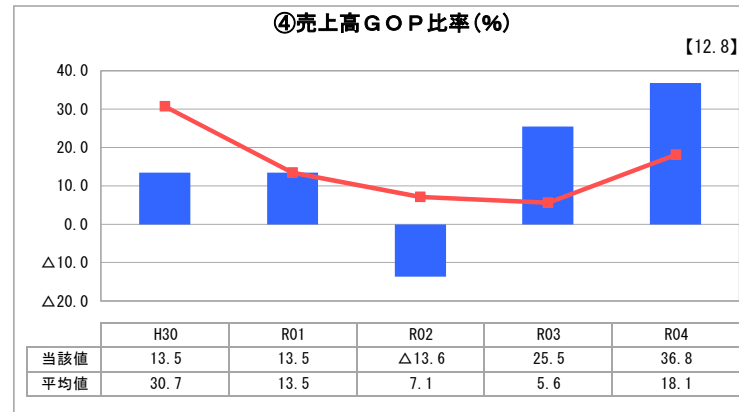
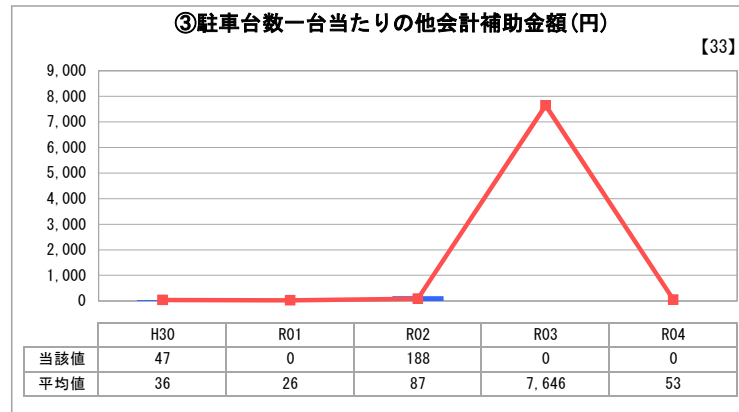
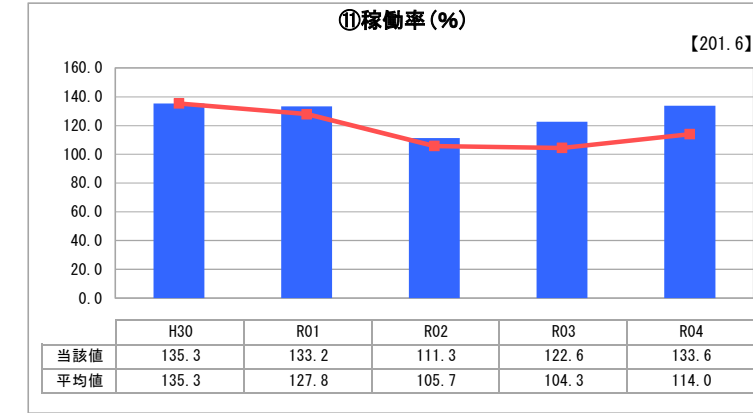
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について
 駐車場の料金収入等で支出をどの程度賄えているかを示す収益的収支比率(%)は駐車場建設費の償還が終了した平成30年度以降100%を超えており、黒字となっています。
 また、償還終了後は他会計補助金比率や駐車台数一台当たりの他会計補助金額はゼロでしたが、令和2年度はスロープ修繕、令和4年度はトイレの自動水洗化にかかる修繕に一般会計から繰り入れることとなりました。
 売上高GOP比率及びEBITDAは平均よりも低い数値が続いていたものの、令和3年度以降は大きな修繕が無く、収益性が上がっています。

2. 資産等の状況について
 駐車場建設費の償還は完了していますが、老朽化が進んでいます。
 今後は令和5年11月に策定した駐車場ビジョンに基づきエレベーターの改修や防火設備の改修等の設備投資を見込む必要があります。

3. 利用の状況について
 新型コロナウイルス感染症の影響が強かった令和2年度以前の稼働率に戻りました。
 平均値よりも稼働率は若干高く、駐車場としての需要が今後も継続することが見込まれます。

2. 資産等の状況

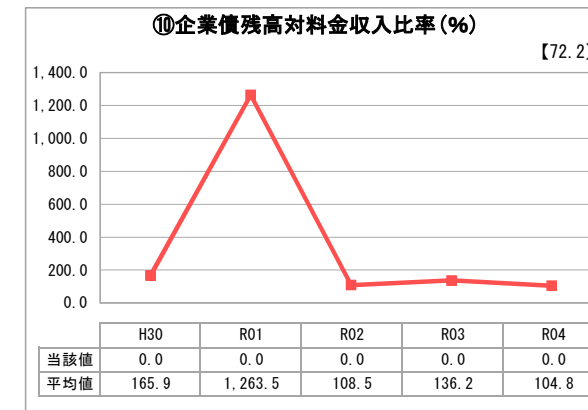


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0



全体総括
 本駐車場は、平成9年4月から供用を開始した、相模原駅前整備地区内唯一の都市計画駐車場です。
 一定数の利用があることから、今後も都市計画駐車場として存続させる必要があると考えています。
 また、北口の相模総合補給廠一部返還地のまちづくりによる需要の変化等を注視していく必要があります。

経営比較分析表（令和4年度決算）

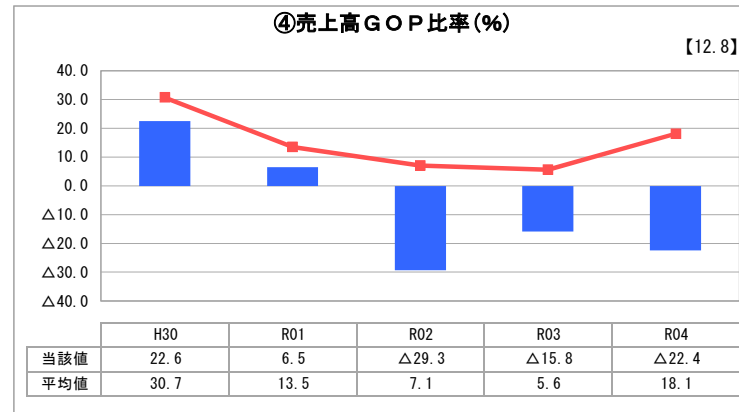
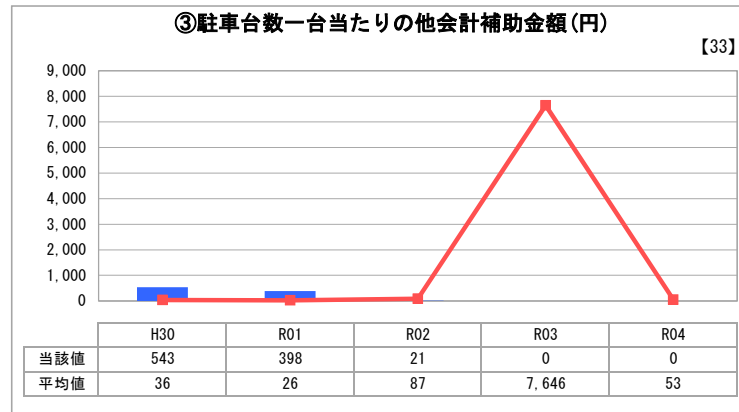
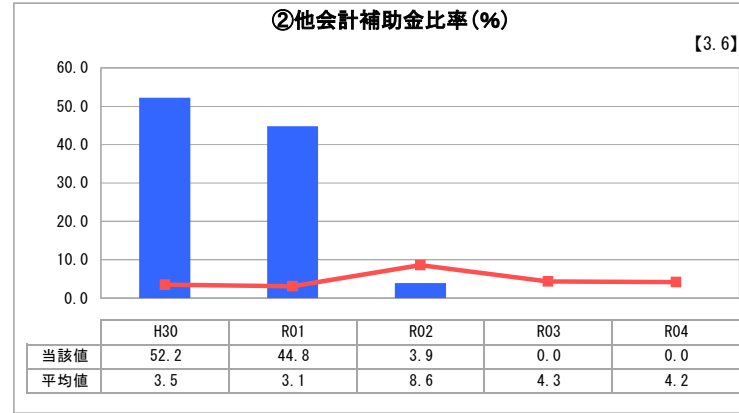
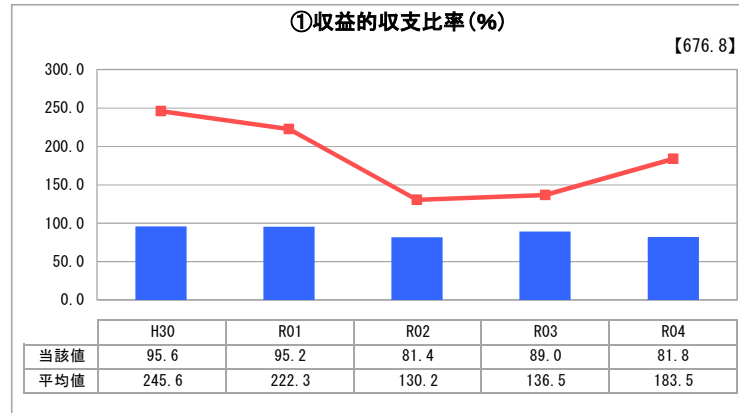
神奈川県相模原市 橋本駅北口第1自動車駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	23	

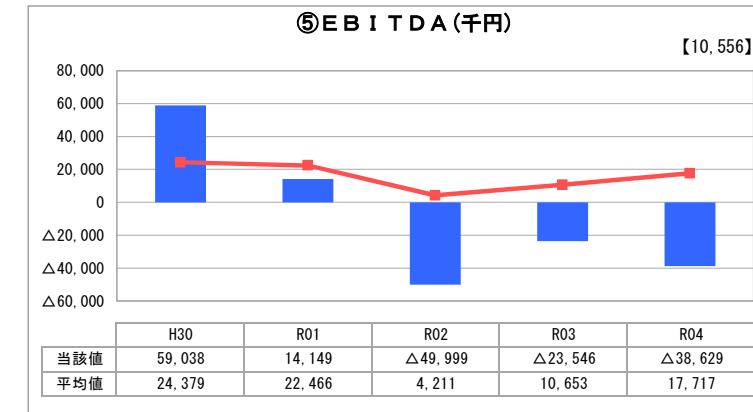
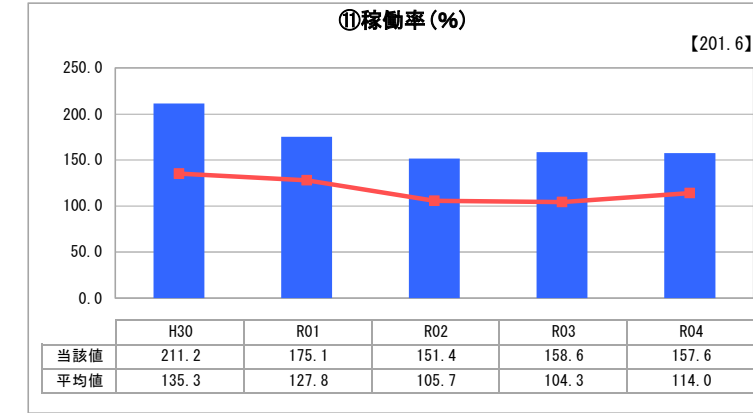
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	28,612
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
747	300	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

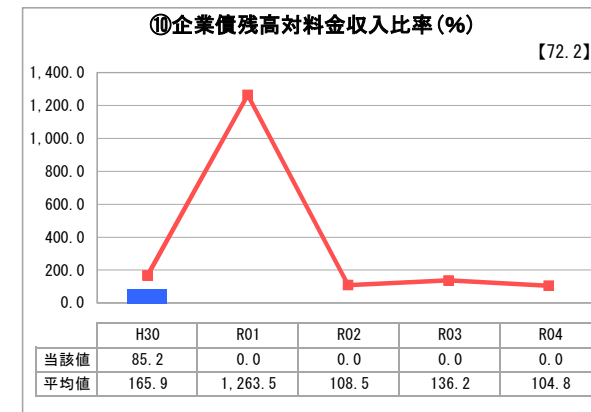


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
 駐車場の料金収入等で支出をどの程度賄えているかを示す収益的収支比率(%)は100%未満で赤字となっています。
 本駐車場の建設費償還は平成31年度に完了したため、他会計補助金比率及び駐車台数一台当たりの他会計補助金額はゼロとなりました。
 売上高GOP比率及びEBITDAは平均よりも低く、経営改善に向けた取組みが必要であることを示しています。

2. 資産等の状況について
 駐車場建設費の償還は完了しています。住宅・商業施設との複合施設であり、大規模修繕は管理組合が実施するため、管理組合費の負担額のほか、今後は令和5年1月に策定した駐車場ビジョンに基づき駐車場が単独で所有しているエレベーターの更新費等を見込む必要があります。

3. 利用の状況について
 令和元年度の稼働率の減少は、隣接商業施設の駐車料サービスの変更によるものと考えております。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、外出を取りやめる、買物等を短時間で済ませる、テレワークに変わるなど、利用状況に変化があったため稼働率が減少しましたが、令和3年度は若干回復し、令和4年度は若干下がったものの同程度の水準を保っています。
 平均値よりも稼働率が高く、今後も一定の需要が見込まれます。

全体総括
 本駐車場は、平成12年2月から供用を開始した、橋本駅周辺駐車場整備地区内に2つある都市計画駐車場のうちの1つです。
 一定数の利用があり、今後橋本駅南口において土地区画整理事業が実施されることを踏まえ、今後も都市計画駐車場として存続させる必要があると考えています。

経営比較分析表（令和4年度決算）

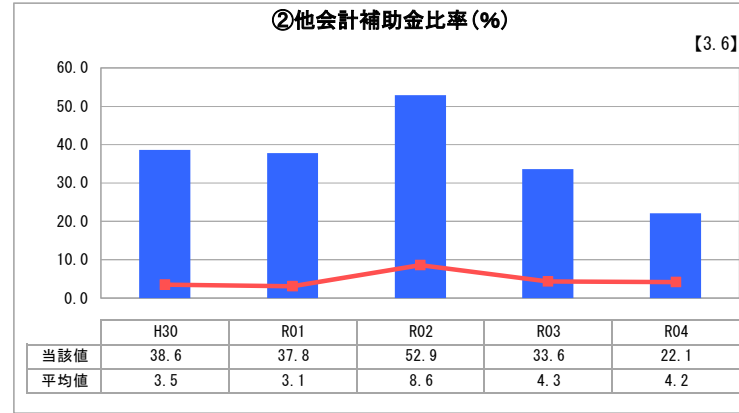
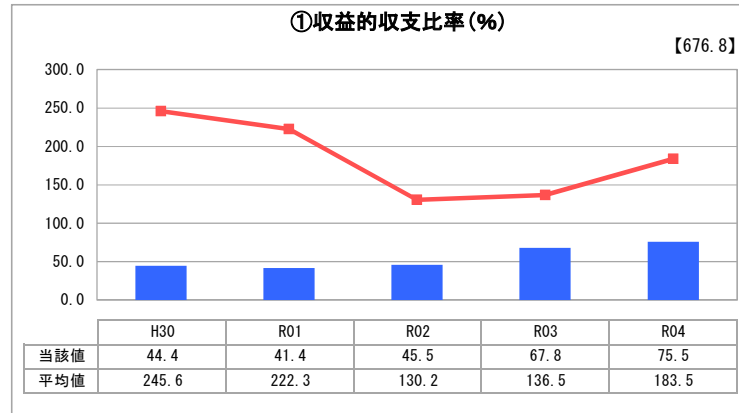
神奈川県相模原市 橋本駅北口第2自動車駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	22	

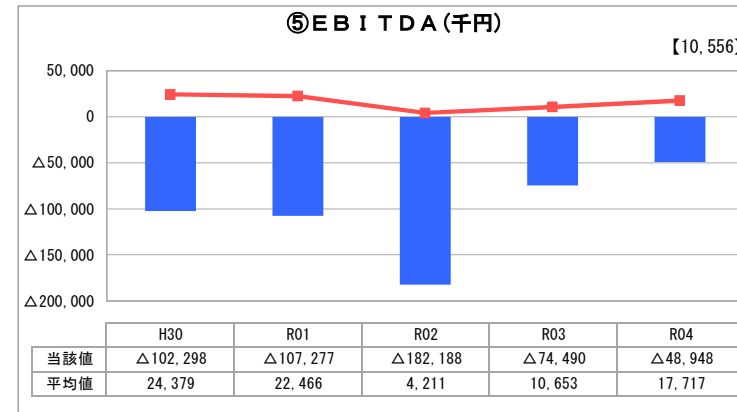
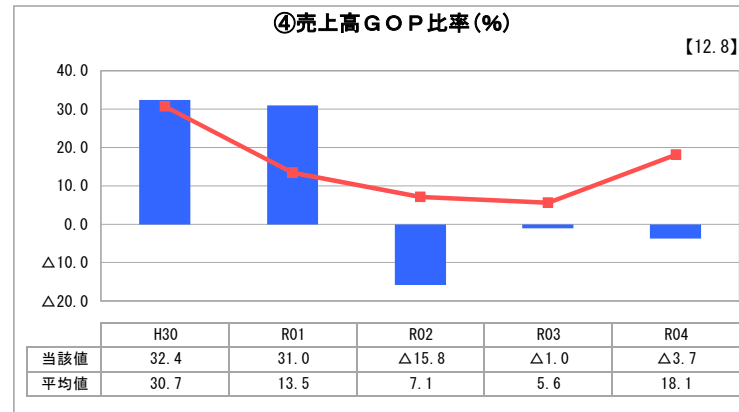
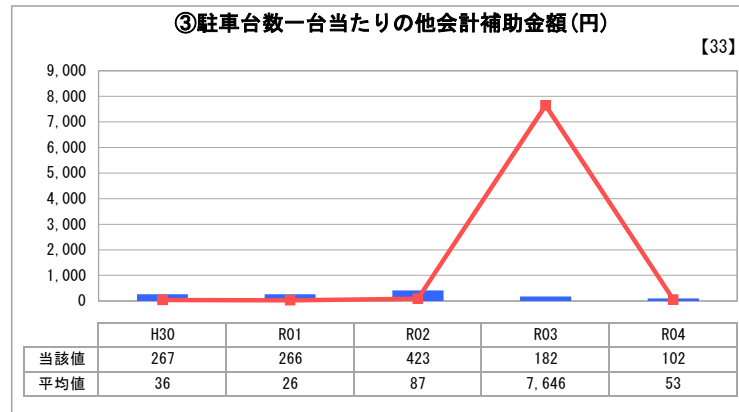
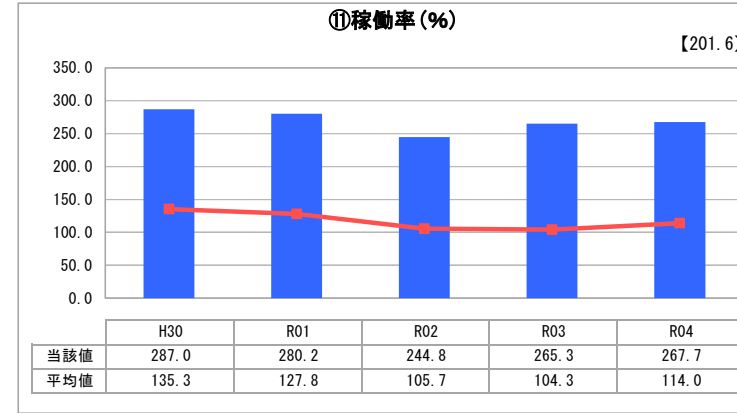
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	13,925
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
455	300	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

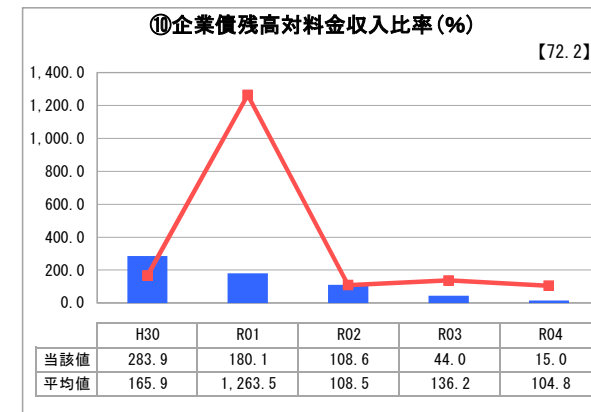


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
駐車場の料金収入等で支出をどの程度賄えているかを示す収益的収支比率(%)は100%未満で赤字となっています。
他会計補助金比率及び駐車台数一台当たりの他会計補助金額は平均よりも高いですが、建設費の償還が完了する令和5年度以降はゼロとなる見込みです。
売上高GOP比率及びEBITDAは平均よりも低く、経営改善に向けた取組みが必要であることを示しています。

2. 資産等の状況について
駐車場建設費の償還は令和5年に完了する予定です。商業施設との複合施設のため、令和5年度からの10年間に管理組合が実施する大規模修繕の負担額のほか、今後は令和5年11月に策定した駐車場ビジョンに基づき駐車場が単独で所有しているITV設備の改修等の設備投資を見込む必要があります。

3. 利用の状況について
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行に伴う緊急事態宣言発令時に、隣接の大型商業施設が一部を除いて休業したため、稼働率が下がりましたが、令和3年度から回復傾向にあります。
平均値よりも数値が高く、需要の高い駐車場であることを示しています。

全体総括
本駐車場は、平成13年9月から供用を開始した、橋本駅周辺駐車場整備地区内に2つある都市計画駐車場のうちの1つです。
一定数の利用があり、今後橋本駅南口において土地区画整理事業が実施されることも踏まえ、今後も都市計画駐車場として存続させる必要があると考えています。

経営比較分析表（令和4年度決算）

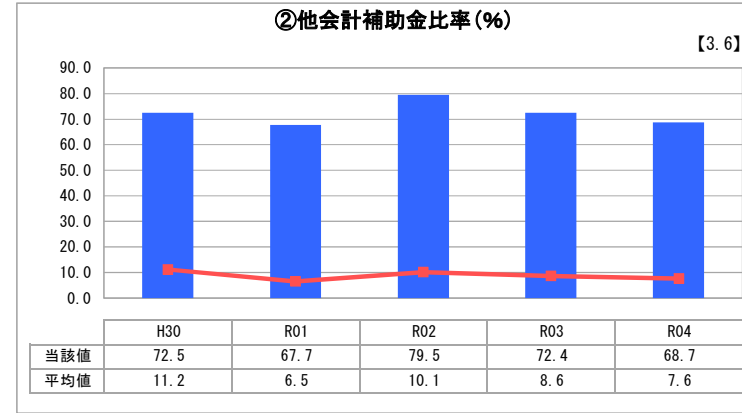
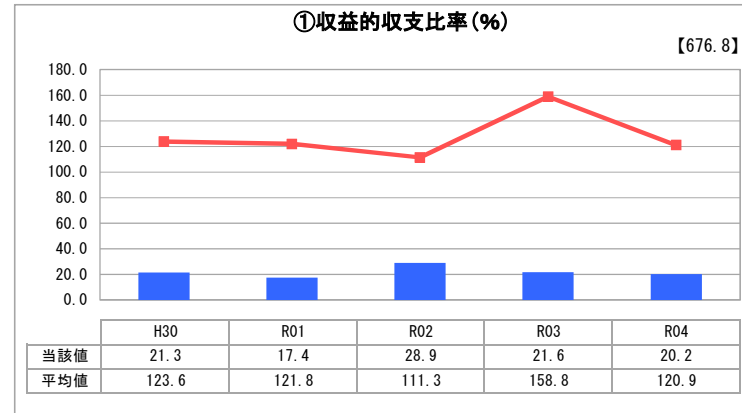
神奈川県相模原市 小田急相模原駅自動車駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	地下式	16	

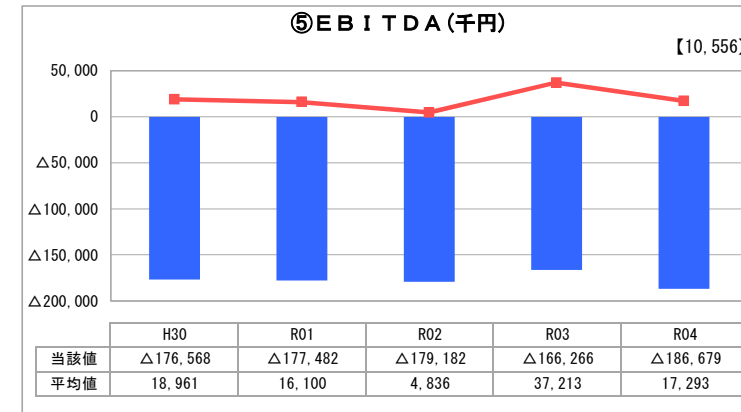
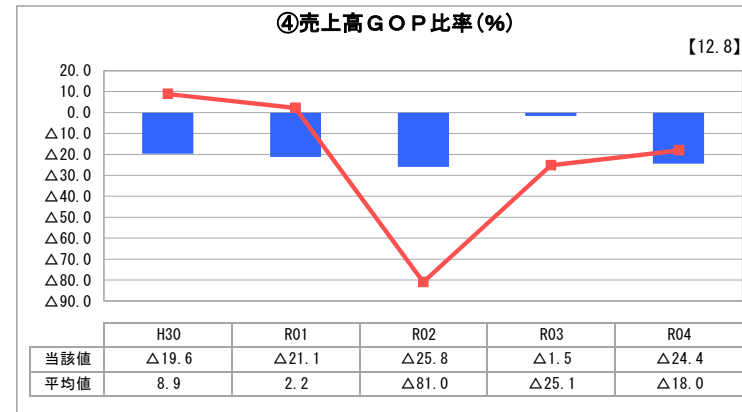
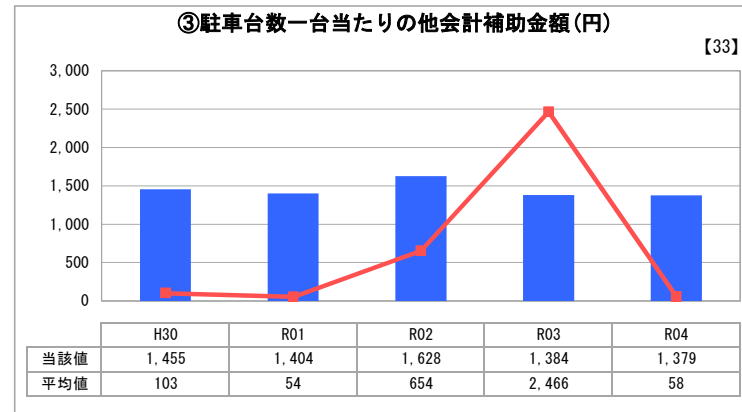
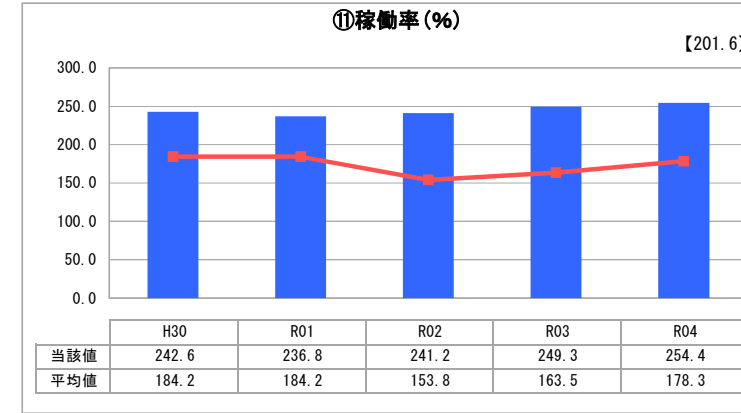
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	7,586
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
136	300	代行制

グラフ凡例	
■	当該施設値（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について
駐車場の料金収入等で支出をどの程度賄えているかを示す収益的収支比率(%)は20%前後で、大きく赤字となっています。他会計補助金比率及び駐車台数一台当たりの他会計補助金額は平均よりも高く、繰入金等への依存度が高いことを示しています。売上高GOP比率及びEBITDAは平均よりも低く、経営改善に向けた取組みが必要であることを示しています。

2. 資産等の状況について
駐車場建設費の償還は令和9年に完了する予定です。住宅・商業施設との複合施設のため、令和4年度から5年度にかけて管理組合が実施している大規模修繕の負担金のほか、今後は令和5年11月に策定した駐車場ビジョンに基づき駐車場が単独で所有しているITV設備の改修等の設備投資を見込む必要があります。

3. 利用の状況について
平均値よりも稼働率は高く、需要の高い駐車場であるといえます。定期駐車の高割合、新型コロナウイルス感染症が流行した令和2年度もほぼ影響を受けませんでした。定期駐車の高割合に伴い、稼働率は増加傾向にあります。

2. 資産等の状況

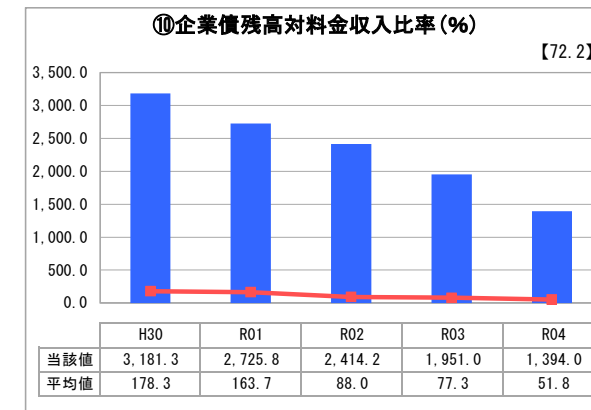


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0



全体総括
本駐車場は、平成19年12月から供用を開始した、市の開発に伴い設置した駐車場です。市施設・商業施設・住宅がある複合建築物の地下部分を占めていることから、今後も駐車場として存続させる必要があると考えています。ただし、収益等の状況を鑑み、運営方法等については検討をしていきます。

経営比較分析表（令和4年度決算）

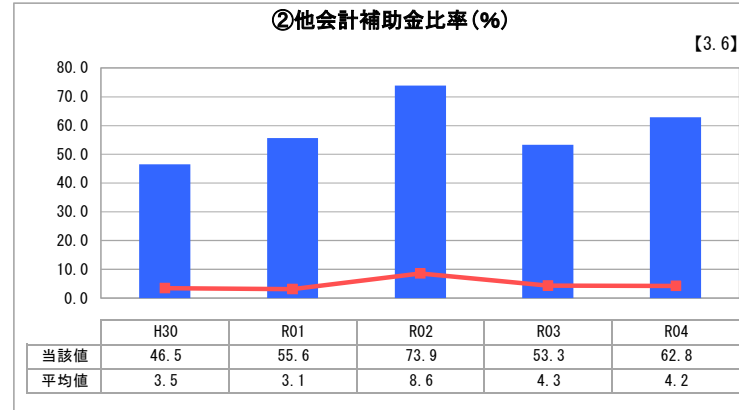
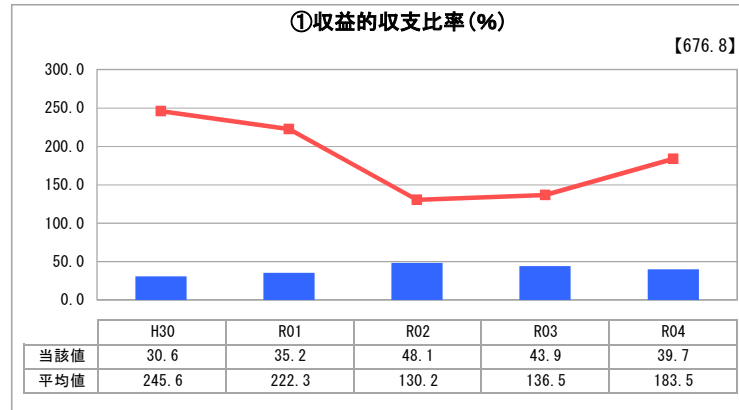
神奈川県相模原市 相模大野駅西側自動車駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	10	

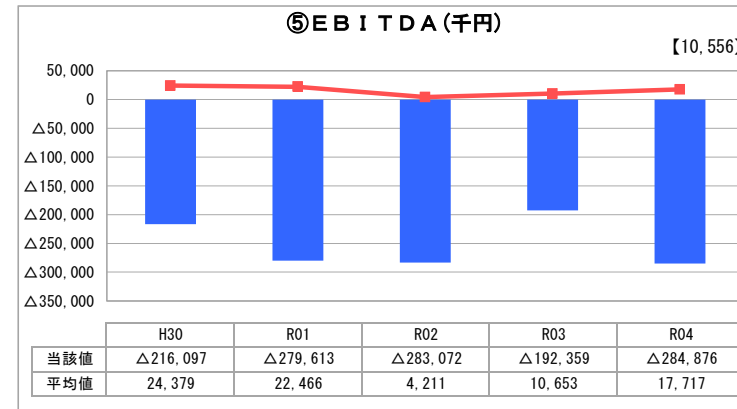
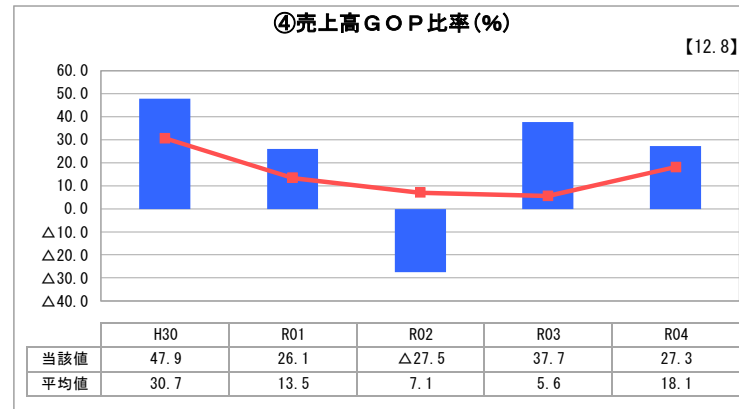
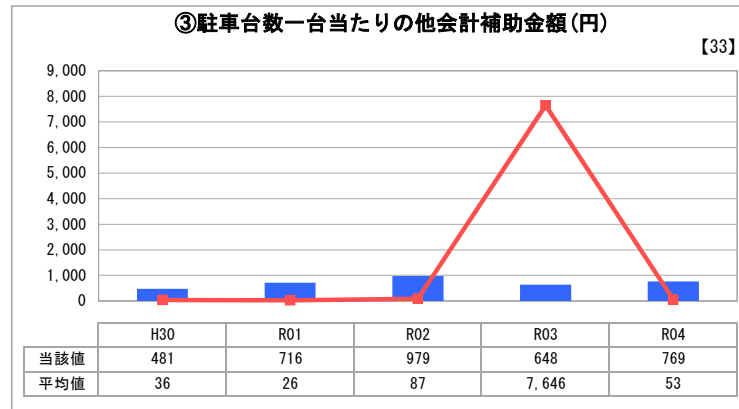
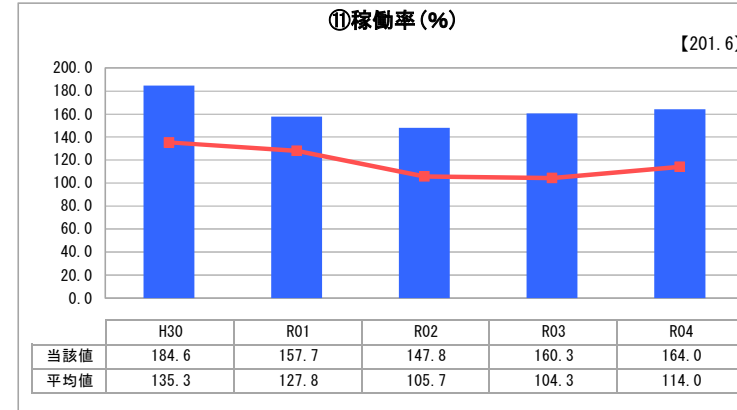
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	25,638
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
749	300	代行制

グラフ凡例	
■	当該施設値（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について
 駐車場の料金収入等で支出をどの程度賄えているかを示す収益的収支比率(%)は40%前後で赤字となっています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、一般会計からの繰入金により総収入が増加したため収益的収支比率が増加しましたが、令和3年度は減少しました。令和4年度は管理組合負担金の増額により総支出が増加し、前年度より減少しています。
 他会計補助金比率及び駐車台数一台当たりの他会計補助金額は平均よりも高いですが、建設費の償還が完了する令和14年度以降はゼロとなる見込みです。
 売上高GOP比率は概ね平均より高いもののEBITDAは平均よりも低く、経営改善に向けた取組みが必要であることを示しています。

2. 資産等の状況について
 駐車場建設費の償還は令和14年度に完了する予定です。商業施設との複合施設であり、今後は管理組合が実施する大規模修繕等の負担額を見込む必要があります。令和5年11月に策定した駐車場ビジョンでは、同駐車場が単独で所有している設備投資はありませんが、今後発生した場合は見込む必要があります。

3. 利用の状況について
 オープン以後、店内のリニューアルによる一部店舗閉鎖期間や、隣接商業施設の駐車料サービスの変更等により、稼働率は減少傾向にありました。また令和2年度は、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、外出を取りやめる、買物等を短時間で済ませる、テレワークに変わるなど、利用状況に変化があったため、さらに減少したものと考えています。
 令和3年度から定期利用の割合を増やし、稼働率が上がっています。
 平均値よりも稼働率は高く、今後も一定の需要が見込まれます。

2. 資産等の状況

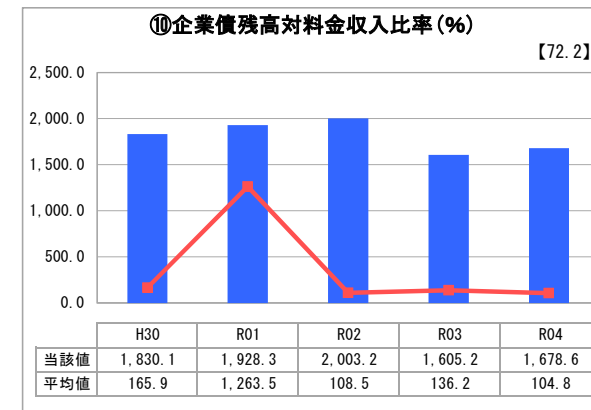


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0



全体総括
 本駐車場は、平成25年3月から供用を開始した、相模大野駐車場整備地区内に3つある都市計画駐車場のうちの1つです。
 一定数の利用があることから、今後も都市計画駐車場として存続させる必要があると考えています。